

目標達成計画

作成日: 令和 元年 10月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念は職員による支援の基本方針でもあるため、ホームでかかげている理念の振り返りと実践につなげる取り組みを行ないたい。	グループホームとしての理想の理念を職員の目に付く所に掲示にし、統一した方針のもと、職員が同じ方向性をもって支援にあたることができるようにする。	施設理念掲示を行い、朝礼での定期的な発信や会議や委員会などを通じて理念の周知や振り返りを行なう。	12ヶ月
2	33	ホームでは多くの家族がホームでの最後を希望している。ホームでも委員会を通じた職員研修を準備している段階である。3ユニットと利用者の人数が多いこともあるため、継続的な支援体制の取り組みに期待したい。	施設として行なえているところと、不足しているところを確認し、今後も継続した支援が行ない、全ユニットで看取りが行なえるよう職員が学ぶ機会を整える。	委員会を通じた研修や会議を通して自己学習や支援の方向性の確認を行なう。利用者支援をテーマとした勉強会を月に1回をベースに行ない、また、その他課題や利用者ごとの支援課題についてはユニット会議で話し合いを行なう。	12ヶ月
3	35	当ホームは水害が想定される地域でもあるため、併設事業所や関連の医療機関とも連携しながら、水害想定の実施にも期待したい。	新入職や異動の職員もいるため、避難訓練を通じて避難手順や避難経路の確認を毎年行なっていく。職員が非常時の機器の対応を行えるように周知を継続的に行なう。	年に1回水害想定での避難訓練を行なう。非常時の機器の対応を見える化して常時閲覧できるように設置する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。